

レジメン番号	0607	レジメン名	R2 1 コース目
登録診療科	血液内科	使用薬剤	リツキサン/リツキシマブ BS、レブラミド
がん腫	濾胞性リンパ腫、辺縁帯リンパ腫	インターバル日数	21 日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者投与量	Day1 (/)	Day8 (/)	Day15 (/)	Day21 (/)	Day22 (/)	4 週間を 1 コース
リツキサン/リツキシマブ BS 375 mg/m ²	点滴	mg	↓	↓	↓		↓	
レブラミド 20mg/日 ※4	経口	20mg	↓	↓	↓	↓	↓	

(支持療法)

※1 Day1 経口剤あり

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①リツキサン/リツキシマブ BS	100mg	生食	※2 下記参照/輸注ポンプ
	500mg	初回：1mg/mL に希釈 2 回目～：1~4mg/ml に希釈	

投与間隔≫ ※3 (メインルート/持続) ※2
 投与順番≫ ② → ① → 終了

【備考】

※1 リツキサン/リツキシマブ BS 投与前、解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 初回投与時、最初の 30 分は 50mg/h で開始し、患者の状態を十分観察しながら、
 注入速度を 30 分毎に 50mg/h ずつ上げて、最大 400mg/h まで速度を上げることができる。

2 回目以降の投与速度は下記のいずれかを選択可能 (リツキシマブ BS は(2)を選択不可)

(1)初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/h で開始し、その後 30 分毎に 100mg/h ずつ上げて、
 最大 400mg/h まで上げることができる。(1mg/ml に希釈しているときのみ選択可能)

(2)臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が
 5,000/μL 未満である場合、90 分で投与 (最初の 30 分：投与量の 20%、その後 60 分：投与量の 80%)

※3 5%ブドウ糖液 500mL (メインルート)

※4 レブラミドは 5-20mg の範囲で調節